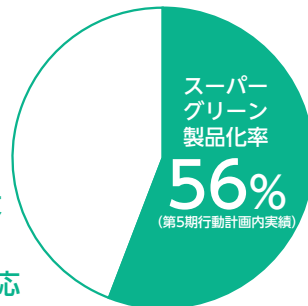


設計
ステージ
ハード

ライフサイクル全体を通した、 環境負荷削減製品を提供します。



MISSION



- 環境配慮トップレベルの「スーパーグリーン製品^{*1}」の適用拡大
- 環境負荷を抑え、また製品価値を向上させる製品開発
- 製品含有化学物質管理徹底によりグローバルな環境法規制に対応
- さらなる環境負荷低減

「スーパーグリーン製品」 創出への取り組み

富士通グループは、ハード製品の新規開発において、スーパーグリーン製品の適合率拡大を目指して活動しています。

スーパーグリーン製品とは、グリーン製品であることを前提条件とし、「省エネ」「3R設計・技術」「含有化学物質」「環境貢献材料・技術」などの環境配慮要素のいずれかの項目がトップグループレベルにあり、市場製品または自社製品との比較において優れた製品またはシステムとして認定されたものになります。

当社は、その課題に従来より取り組んでおり、2005年度当社初の製品化を皮切りに、スーパーグリーン製品を創出し続けています。

第5期行動計画(2007年度～2009年度)内においては、適合率平均50%以上の高い目標を設け取り組んでまいりました。

新規開発製品において、2009年度も3製品群をスーパーグリーン製品として創出するとともに、この行動計画の中では平均56%の結果となり、目標を達成することができました。

2010年度からは、第6期行動計画(2010年度～2012年度)となりましたが、スーパーグリーン製品に認定される条件が「省エネ」と「その他分野」の両方において

トップレベルであるという、従来よりもさらにハードルが高いものに見直されました。

従来の考え方は通用しなくなっており、新しい発想、考え方を柔軟に取り入れた、より環境に配慮したスーパーグリーン製品創出30%以上を目指しています。

製品の環境負荷と価値を捉える 環境効率ファクター^{*2}を活用

第5期行動計画では、製品の環境負荷と価値(機能・性能)の向上を定量的に捉えるため、新規開発するグリーン製品を対象に2005年度製品と比較した「環境効率ファクター」算出も行いました。

この行動計画の中で、当社が開発する特定分野向けとして位置する製品群においては、平均1.2以上の目標を掲げ取り組んでまいりましたが、平均1.42の結果となり、目標を達成することができました。

今後は、第6期行動計画で掲げた目標である、2008年度製品と比較した環境効率ファクターが「1.6」となるよう活動を継続します。

REACH規則対応など、 製品含有化学物質管理にも注力

富士通グループが定める含有禁止物質の情報管理を社内システムにて確実に

い、指定物質を含まない製品提供を行っています。

また、REACH規則^{*3}への対応として、定期的に追加される認可対象候補物質^{*4}の情報管理も確実にするために、お取引先へのご協力要請はもちろん、社内システムを一部見直し取り組んでいます。

さらなる環境負荷低減に向け、 高い目標を掲げて取り組みます

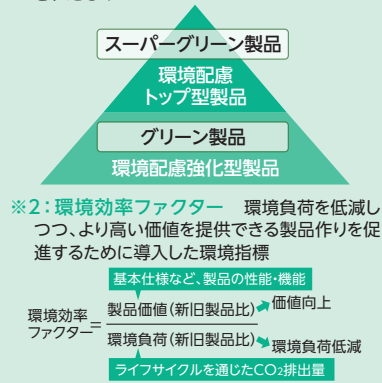
これまでの行動計画における目標は順調にクリアしてきました。

しかし、これからも社会全体が低炭素化社会の実現という一つの目標に向かって活動していくことには変わりはありません。

第6期行動計画は、高い位置に目標を掲げ活動していますが、低炭素化社会の一助となるように、その目標をクリアする製品開発に今後も努めます。

用語解説

※1: **スーパーグリーン製品** 富士通グループの「グリーン製品」の条件を満たし、「省エネルギー」「3R設計・技術」「含有化学物質」「環境貢献材料・技術」など環境要素がトップグループレベルにあり、市場製品または自社製品との比較において優れた製品またはシステムと認定されたもの



※3: **REACH規則** 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制

※4: **認可対象候補物質** REACH規則で規定される特性(発がん性、変異原性、生殖毒性など)を有する物質から選定。製品中に含有する場合は、その情報伝達義務が生じる。

2009年度に生まれたスーパーグリーン製品

高速コンパクト型ATM [FACT-V X100]

省エネルギー
● 従来製品比待機消費電力を40%削減

3R設計・技術
● 筐体の全樹脂成型部品の約80%に再生プラスチック材を使用



エアライン プリンタ [FUJITSU 9860]

3R設計・技術
● 従来製品比体積を25%削減

省エネルギー
● 環境効率向上



営業店端末 [UBT-SP C100]

3R設計・技術
● 従来製品比質量を29%削減
● 従来製品比体積を55%削減
● 筐体の全樹脂成型部品の約80%に再生プラスチック材を使用

